武山小学校学校だより

たけやまの子

令和7年9月8日　9月号　　学校長　加藤　直保子

再始動

　夏休みが終了しました。子どもたちの賑やかな声が戻ってきました。
初日は子どもたちの様子が気になって門に立ちましたが、笑顔で元気な挨拶が多く　とても嬉しいスタートとなりました。朝会では　もし周りに元気のない人がいたら、声をかけてあげようと伝えました。

私事ですが、この夏休みに広島へ行ってまいりました。
今年はちょうど終戦から 80 年という節目の年でした。
原爆を含めた戦争の悲惨さを、語り継いでいく人が段々減っていっているというニュースを目にしました。そんな中でも、地元の中学生が修学旅行で訪れた人に原爆ドームの案内などをしている話を伺い、命の大切さを後世に伝えていく若い人たちがいることに少しほっとしました。
国語の教科書の中に、戦争の内容が含まれる学習がありますが、どれだけ心の中心に届いているかなと思うことがあります。私が幼少時に祖父母などが話してくれた内容は、今になって思い返すことがありますが、当時の私の気持ちは、どれぐらい感じとれていたのだろうと今更ながら思います。
　広島の街は、何十年前に訪れた時よりずっと開発が進み近代的になっていましたが、原爆ドームのほとりの川を見たときには、水を求めて苦しんで亡くなっていった人がどれほどいたのだろうと考えさせられるものが残っているように思いました。
私たちの今の暮らし自体が、沢山の悲しみのもとに生み出されたもの、戦争の苦しみから這い上がって、そして新しい日本を夢見て作り上げてきたものなのだろうと思います。
自分の身の回りの小さな喜びに目を向けていくような習慣を大事にし、それらを子どもたちに伝えていくことが大切な役割だと思っています。まずは、自分の身の回りを大切にすることこそが平和に繋がりますね。

まだまだ厳しい残暑が続きそうです。
しっかり朝食を食べ、体調を整えて登校できるようにしていきたいです。
前期後半も様々な面で保護者の皆様のサポートをいただく事になると思いますが、何卒宜しくお願い致します。
ここからまた様々な行事があり、子どもたちの成長につながっていくのが楽しみですね。

最後になりましたが、chromebook持ち帰りのご協力等ありがとうございました。様々な面でサポートしていただけたことに感謝致します。
※　９月５日(金)台風による一斉下校へのご理解とご協力に感謝致します。様々なことを鑑みましたが、何より一番酷い雨と下校をずらし安全を第一にすることができましたのもご協力のおかげです。

約 400 人の方が避難しました

7 月 30 日(水)津波警報が発表され、武山小学校にも一時は
400 人の方が避難されてきました。
いざという時が、まさかこんなふうに訪れるのだと
思いました。
今回は夏休み中の出来事でした。
いざ携帯が鳴り始めると、一瞬頭が真っ白になる
ものだとあらためて感じました。
冷静に判断したり、情報を集めたりするには…
このような時でないと見えてこないものがあり、
その時のベストをどう尽くしていくかなのだと思います。
常日頃から備えておきたいですね。
くる 9 月 27 日に 武山小学区の避難訓練もあります。

体育館にカーテンが付き、給食室にエアコンが入りました

日本の気候が変わりつつあるここ最近ですが、
体育館にカーテンがつきました。
大分、中の温度も変わるはずです。

そして、給食調理室にはエアコンが入りました。
それはそれは調理員さんたちは、
ものすごい暑さの調理室で
私たちの給食を作ってくださっていました。
少しでも良い環境で給食調理ができるようになり
ここからさらに美味しい武山小の給食が食べられるように
なりますよ！

学校運営協議会が開かれました

9 月 4 日に学校運営協議会が行われました。
「武山小学校の子どもたちがさらに輝きを増すには
どうしたらいいか」と、熱い話し合いとなりました。
中学校の校長先生やこども園の園長先生、
地域の防犯指導員、PTA会長、見守り隊の方等
それぞれの立場からのお話は、今後の武山小の
子どもたちの姿に繋がる大変貴重なものになりました。